

平成 24 年 5 月 11 日

UR 都市機構神奈川地域支社

洋光台エリア会議 H24 年度の取り組み内容（案）

多世代近居の実現に向けた洋光台ケーススタディ検討会で示された取り組みの方向性	H24 年度の取り組み内容（案）
駅周辺における多世代が触れ合う地域全体の拠点としての場づくり	a)洋光台駅前商店街への地域活動拠点の設置に向けた検討 b)地域北部における地域ケアプラザのランチ機能誘致の検討 c)地域が必要とする新たな移動手段（モビリティ）導入の検討 上記について、地元を交えたワークショップ等を企画
住宅地における多世代がふれあう地区の拠点としての場づくり	
居住者が外へ出て交流を図るようなソフト面での対応	
駅周辺の動線の変更や施設の改修等、地域が利用しやすい空間づくりと人が集まるソフトづくり	
高齢者が住みやすい住宅づくりや地域の高齢者等にサービスできる拠点づくり	
居住に不便を感じる高齢者等の住み替えの誘導	d)地域内住み替えシステム構築に向けた検討
外部からの子育て世帯の住み替え誘導	
住み替えを行う動機付けの実施	
地域の運営マネジメントの仕組みの確立	e)H25 年度以降の洋光台エリア会議の体制及び対象エリアの検討 (資料 3 参照)
その他 (エネルギーマネジメント)	f) 中層住棟屋上等への太陽光パネル設置・エネルギー活用に向けた検討

取り組み推進のために必要な、洋光台エリアの基礎調査を実施